記者発表資料

水資源機構

令和７年９月３日
独立行政法人水資源機構
関西・吉野川支社 淀川本部
木津川ダム総合管理所

渇水対策支部の設置について
（青蓮寺ダム管理所）

独立行政法人水資源機構は、高山ダムの貯水率が５０％程度まで低下したことから、渇水対策を適切かつ円滑に行うことを目的として、８月７日に関西・吉野川支社淀川本部及び木津川ダム総合管理所に渇水対策本部を、高山ダム管理所に同支部を各々設置したところです。

木津川ダム総合管理所管内の各ダムでは、河川の必要水量を確保するため、ダムに貯留している水を継続的に放流していますが、青蓮寺ダムの貯水率が５０％程度まで低下したこと、また木津川渇水対策会議が開催されたことから、９月２日に青蓮寺ダムに渇水対策支部を設置しましたのでお知らせします。

今後、関係利水者等と水源情報の共有を強化し、適切な渇水対応を行ってまいります。限られた水資源を有効に活用するため、節水にご理解とご協力をお願いします。

発表記者クラブ：近畿建設記者クラブ、大手前記者クラブ 、大阪市政記者クラブ、三重県政記者クラブ、名張市政記者クラブ

お問合わせ先 ：（渇水対策支部の設置に関すること）
関西・吉野川支社 淀川本部 施設管理課長 尾島（おじま）〇
総務課長 横江（よこえ）
電話：０６－６７６３－５１８２（代表）

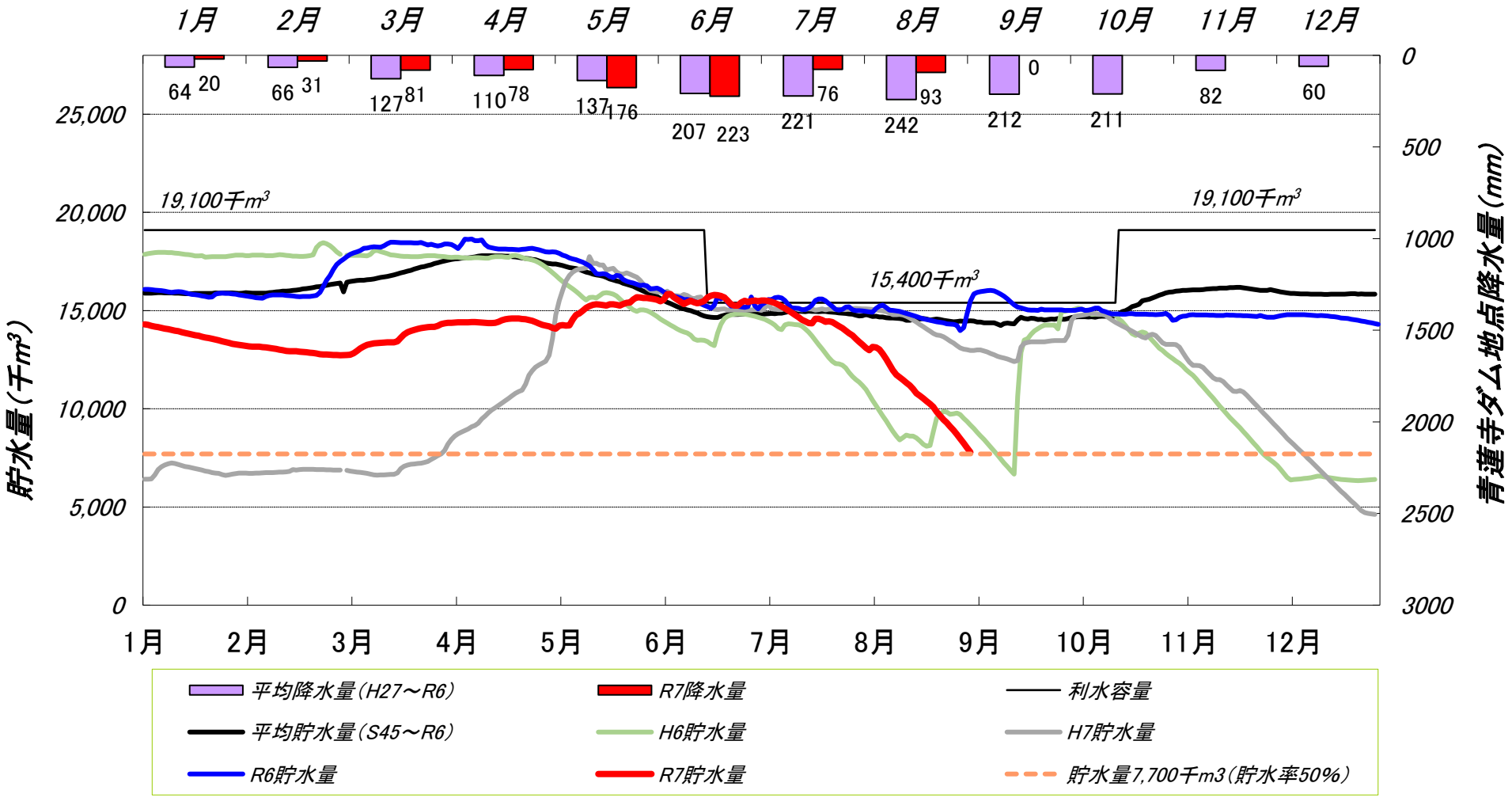
（青蓮寺ダムに関すること）
木津川ダム総合管理所 管理課長 常松（つねまつ）〇
副所長 小林（こばやし）
電話：０５９５－６４－８９６１（代表）

（ 参 考 資 料 ）

令和７年　青蓮寺ダム貯水量曲線

1月-8月平均降水量（ダム地点）　1,174 mm
1月-8月R7降水量（ダム地点）　778 mm

令和7年9月2日現在



（ 参 考 資 料 ）

木津川ダム総合管理所管内各ダムの貯水量及び貯水率

令和7年9月2日 現在

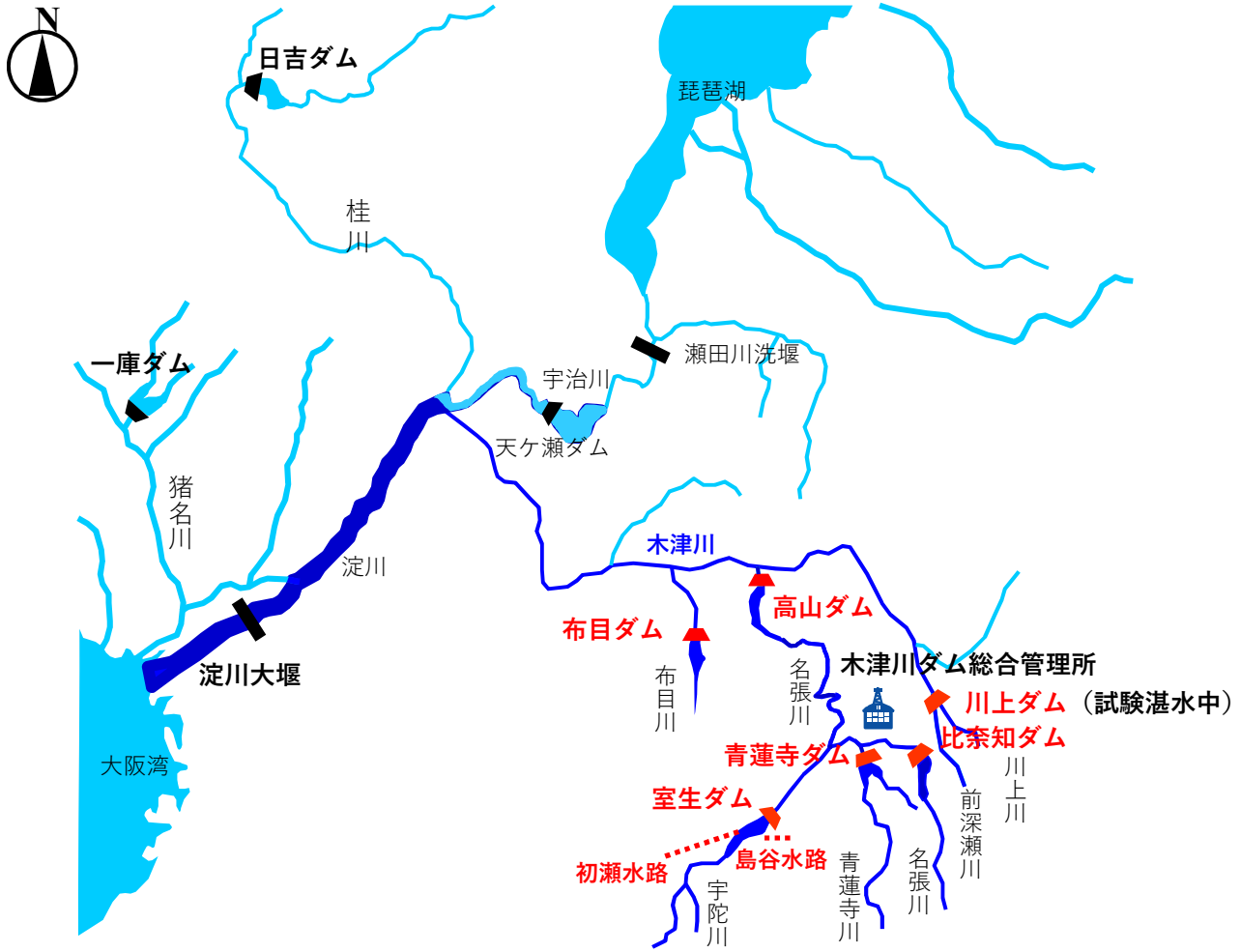
ダム名	利水容量（千m3）	貯水量（千m3）	貯水率	平年の貯水率
高山ダム	13,800	5,838	42.3%	88.6%
青蓮寺ダム	15,400	7,795	50.6%	94.0%
室生ダム	6,550	4,618	70.5%	85.4%
布目ダム	9,000	7,619	84.7%	93.6%
比奈知ダム	9,400	5,619	59.8%	95.2%
川上ダム	14,800	11,312	76.4%	101.6%

※貯水量・貯水率は当該日の日平均値。

※平年の貯水率は、各ダムの管理開始から令和6年までの平均値。

（ 参 考 資 料 ）

木津川ダム総合管理所の概要



【布目ダム諸元】
型式：重力式コンクリートダム
目的：ＦＮＷ
堤体積：約３３１千m³
堤　　高：７２．０m
堤頂長：３２２．０m
流域面積：７５km²
湛水面積：０．９５km²
管理開始：平成４年４月
所在地：奈良県奈良市

【室生ダム諸元】
型式：重力式コンクリートダム
目的：ＦＮＷ
堤体積：約１５３千m³
堤　　高：６３．５m
堤頂長：１７５．０m
流域面積：１６９km²
（直接１３６ km²、間接３３km²）
湛水面積：１．０５km²
管理開始：昭和４９年４月
所在地：奈良県宇陀市

【青蓮寺ダム諸元】
型式：アーチ式コンクリートダム
目的：ＦＮＡＷＰ
堤体積：約１７５千m³
堤　　高：８２．０m
堤頂長：２７５．０m
流域面積：１００．０km²
湛水面積：１．０４km²
管理開始：昭和４５年７月
所在地：三重県名張市

【高山ダム諸元】
型式：アーチ重力式コンクリートダム
目的：ＦＮＷＰ
堤体積：約２１４千m³
堤　　高：６７．０m
堤頂長：２０８．７m
流域面積：６１５．０km²
湛水面積：２．６km²
管理開始：昭和４４年８月
所在地：京都府相楽郡南山城村

【川上ダム諸元】
型式：重力式コンクリートダム
目的：ＦＮＷ
堤体積：約４５６．０千m³
堤　　高：７０．５m
堤頂長：３３４．０m
流域面積：５４．７km²
湛水面積：１．０４km²
管理開始：令和５年４月
所在地：三重県伊賀市

【比奈知ダム諸元】
型式：重力式コンクリートダム
目的：ＦＮＷＰ
堤体積：約４３０．０千m³
堤　　高：７０．５m
堤頂長：３５５．０m
流域面積：７５．５km²
湛水面積：０．８２km²
管理開始：平成１１年４月
所在地：三重県名張市

記号	目的
F	洪水調節
N	流水の正常な機能の維持
A	かんがい用水
W	水道用水
P	発電

青蓮寺ダムの概要

■ダムの諸元

ダム型式　：　アーチ式コンクリートダム
堤 体 積　：　約175千m^3
堤　　高　：　82.0m
堤 頂 長　：　275.0m
湛水面積　：　1.04km^2
流域面積　：　100km^2
管理開始　：　昭和45年7月

■ダムの目的

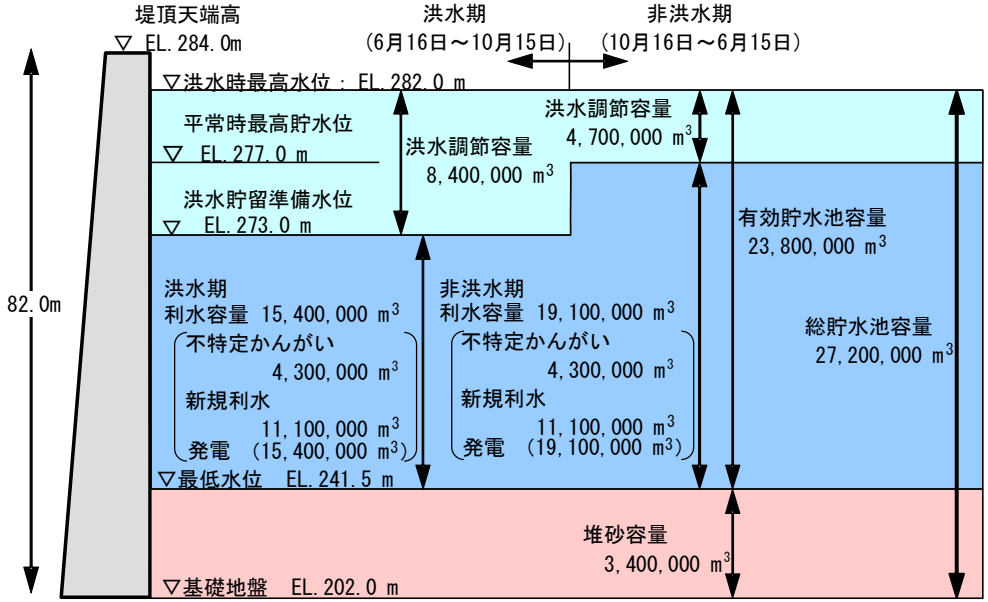
1. 洪水調節
　下流河川での洪水被害を軽減することを目的に、ダム地点における計画高水流量980m^3/sのうち430m^3/sをダムに貯留し、450m^3/sをダムから放流する。

2. 流水の正常な機能の維持
　下流河川の既得用水の補給等、流水の正常な機能の維持を図る。

3. 水道用水
　水道用水として阪神地区に最大2.3m^3/s、名張市に最大0.19m^3/sを供給する。

4. 特定かんがい
　かんがい用水（青蓮寺用水）として名張・伊賀地区に最大1.60m^3/sを供給する。

5. 発電
　中部電力が管理する青蓮寺発電所※で、最大出力2,000kWの発電を行う。（最大使用水量3.9m^3/s）

※ 平成25年4月に三重県企業庁から中部電力に譲渡された。

■貯水池容量配分図